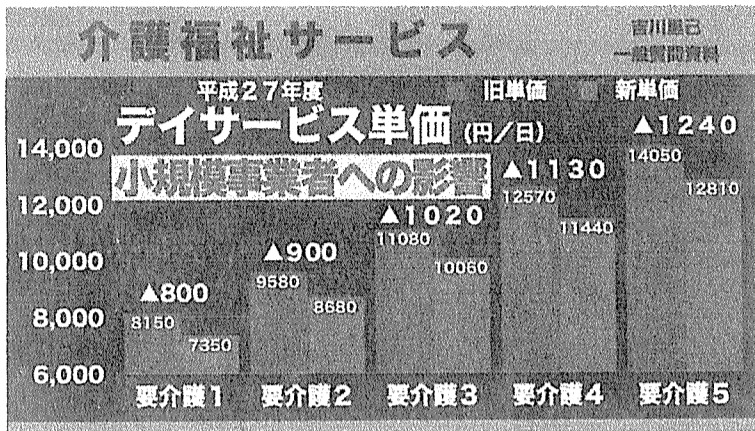


1. 介護報酬の引き下げは問題あり

平成 27 年度から介護報酬が大きく引き下げられ、小規模事業者にとって大きな痛手だ。介護事業者からは悲痛な声が聞こえてくる。市は知っているのか！



平川くらし部長

4月に介護事業者とお会いした際、介護報酬のマイナス改定で施設運営が非常に厳しくなったとの話を伺いました。施設には看護職や事務職もいらっしゃいます。介護職についてはプラス改定でしたが、看護職等の報酬については配慮されていないので施設の持ち出しとなります。小規模施設になるほど影響は大きいとのことで、施設運営に及ぼす影響を心配しています。

介護報酬の引き下げで今後、事業の撤退などがあれば介護事業そのものへ影響が及ぶ。市としてどのように対応していくのか！

小松市長

まずは実態把握をし、その上で九州市長会に要望してまいりたい。私自身、問題意識はありましたので、県選出の国会議員の先生方に現状の報告と要望をさせていただきました。福岡資麿参議院議員をはじめ、福祉に思いと関心をもたれた議員もいらっしゃいますので、しっかり受け止めると回答をいただいたところであります。私としては、あらゆる場を逃さずにしっかり現状を訴え、要望を続けていきたい。

2. 国道34号北方工業団地入口交差点の渋滞解消を

国道 34 号と県道朝日北方線の交差点はレーンがひとつしかなく非常に渋滞している。暫定的な対策も提案したが進んでいない。今後どのように取り組むのか！

山下まちづくり部長

佐賀県としては暫定ではなく国道 498 号の整備による抜本的なバイパス整備により渋滞を解消するとのことで、近いうちにルート発表したいということです。武雄市としては国道 34 号北方町側からの事業着手を要望しています。

3. 武雄北方インター西線の整備を



武雄北方インター西線は交通量が増えている。通勤、通学、あるいは生活道路として北方の皆さんや朝日の皆さんが多く利

用しているが、非常に見通しが悪い。以前から要望がなされているが、どのような改良計画をたててやっていくのか！

山下まちづくり部長

市道インター西線については、見通しの悪い箇所を改良する局部改良事業を進めることにしています。一部地権者がいらっしゃいますので、地権者の承諾を得て調査、測量に入りたいと考えています。

4. 武雄北方インター西線急カーブの解消を

インター西線のファミリーマート側から入ったところが急カーブで、非常に見通しが悪く交通事故等も起きている。見通しを良くするよう対応すべきではないか！

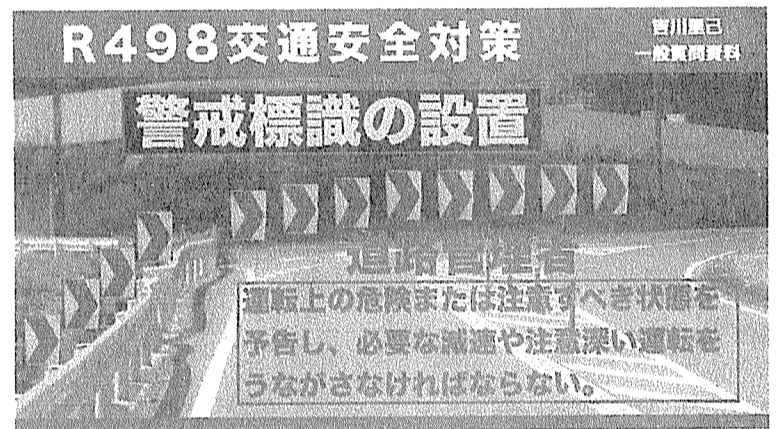
山下まちづくり部長

管理塔が水路と道路の間にあり、どうしても移動することができませんので、隣接している水路をなるべく有効に活用しながら、道路幅員を少しでも広げていきたい。

5. クリーンセンター入口付近の

国道の安全対策を急ぐべき

クリーンセンター入口付近の国道カーブで、10件近くの交通事故が発生している。地元、副島区長から対策の要望があがっても対応してくれない。職務怠慢ではないか！



小松市長

市民の安心、安全を守るということは、何にもまして大事な部分。吉川議員も国道の期成会の際、県に強く要望をされたのを承知しております。市としても繰り返し要望をしております。事故原因の究明と安全対策を施したいと県は言っているところであります。とにかく一刻も早く対応すべきだという思いは強く持っておりますので、私自身が動いてまいりたい。

6. 実効性のある空き家対策を急ぐべし

最大の空き家問題は、周辺にお住いの皆さんの防災とか防犯とか景観への不安であり、長年苦慮されている。今回成立した空き家特措法（空家等対策の推進に関する特別措置法）をうまく活用し、実効性のある対策を早急に実施すべきではないか！

北川政策部長

空き家特措法では、固定資産税の情報を活用できるとされたので、所有者の特定が進むのではないかと思います。特定空家（倒壊の恐れがある空き家など）と判断することで小規模住宅用地の税の特例を外すことが可能となり、所有者の自発的な活用、あるいは処分・売却も含めて進むのではと思います。市の条例を見直し、できるだけ早い時期に特措法の適応ができるようにやっていきたい。